

学部 / 人間科学領域 / 導入科目 科目コード：130002 生物学 Human Biology					
担当教員	井表 円美（非）				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	15		
Keywords	細胞、ATP、タンパク質、DNA、遺伝子、多様性、ホメオスタシス				
学習目的・目標	生物学の基本的内容を学ぶことで、生命のすばらしさを理解するとともに、大学での看護専門領域の学習の基礎とする。				
授業計画・内容					
回	内容				
1	細胞とタンパク質（細胞小器官とタンパク質の役割）				
2	代謝（ATPと呼吸の過程）				
3	DNAと遺伝情報の発現（１）（DNAの複製、転写・翻訳、遺伝子の発現調節）				
4	DNAと遺伝情報の発現（２）（遺伝子の発現調節とバイオテクノロジー）				
5	生殖（染色体、減数分裂とその多様性、遺伝）				
6	発生（配偶子形成、動物の発生、誘導、調節遺伝子）				
7	動物のホメオスタシスの維持と免疫				
8	動物の環境応答（刺激の受容器、神経系、筋肉）				
教科書	プリント配布				
参考図書等	高校時の生物資料集（図版）				
評価指標	筆記試験 80%と毎時の確認テスト20%で評価します。				
関連科目					
教員から学生へのメッセージ	高校の「生物」を履修していない学生を対象としています。生物は基本的に細胞が生命の単位ですが、多細胞化したことで生命としての可能性が高まりました。しかし、細胞どうしで役割を分担し、協力するためのしくみが必須となりました。 さらに他より有利に生きるために多様性も求められています。まだまだ解明されていないことが多いのですが、生物の巧妙な機構を是非楽しんで学んでください。				